



令和8年度6月（臨時発行）号

渋谷区立広尾中学校 学校だより

『若木の丘』

広尾中学校ホームページ

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/1320118>



教育目標

- ・自らの頭で考える生徒の育成
- ・自分の人生をデザインできる生徒の育成
- ・変革やチャレンジをし続ける生徒の育成

『令和8年度体育祭特集号』

いつも本校の教育活動にご理解とご賛同いただきありがとうございます。去る5月31日（日）に青山キャンパスとして初めての春開催の体育祭を実施しました。当日は出席確認用フォームにて出席登録をしていただいたところ、111組のご家庭の出席が確認できました。また当日以降でご入力いただいた貴重なご感想とご意見がありますのでご紹介いたします。ご感想・ご意見は黒字、回答は青字となっております。

①雨じゃなくて良かったです

天候に恵まれ、無事に実施できたことを嬉しく思います。

今後も安全面を最優先に、子どもたちが安心して挑戦できる行事運営に努めます。

②楽しみです！

前向きなお言葉をありがとうございます。今後も安心して楽しめる行事づくりを大切にします。

③みんなとても頑張っていました

温かいお言葉をありがとうございます。子どもたちが役割を果たし、仲間と支え合う姿はまさに行事の価値だと感じています。一人ひとりの挑戦が次の成長につながるように支援してまいります。



④学校便りから入力いたします

ご丁寧ありがとうございます。今後も分かりやすく、タイムリーに情報が発信できるように努めます。

⑤見学スペースの狭さが少し気になりましたが、迅速に改善に動いていただき、後半はかなり見やすくなりました。

ご不便をおかけした点があった中で、その変化を受け止めてくださりありがとうございます。状況に応じて早めに手を打つことは大切だと改めて感じました。今回の対応を糧に今後は見通しをもった配置・導線設計ができるよう、事前の想定と準備を丁寧に進めます。

⑥和気藹々！楽しんでいたのが安心です！

安心して見ていただけたとのこと、何より嬉しく思います。今後も互いの違いを認め合い、協働できる雰囲気づくりを大切にします。

⑦素晴らしい体育祭でした。

生徒同士が声を掛け合っていて一体感を感じました。

嬉しいご感想をありがとうございます。声を掛け合い、支え合う姿に一体感を感じていただけたことが嬉しく思います。協働や協働する力を今後の学校生活につなげます。



⑧保護者観覧から見えづらかった。暑くて少しだけでもテントがあったら嬉しかったです。グラウンドが狭くて、子ども達が可哀想だと思います。走るのも大人数で走った方が盛り上がりやすいですね。

観覧環境についてのご意見ありがとうございます。テントの設置については保有数等の条件も踏まえつつ、可能な範囲で改善できる方向で検討を進めてまいります。また、来年度に向けて見やすさや安全面の改善についても検討し、より多くの方が見守りやすい形を目指します。今回、PTAの役員の皆様方が率先して様々な場面で行事を支えていただきました。そちらも併せてご承知いただけると幸いです。



⑨先生方、時間のない中、たくさんの準備を、各種目を作り上げてくださって、そしてその様子を日々HPで紹介してくださっていて、本当にありがとうございました！

娘はダンス係や生徒会種目、準備ボランティアをやっていましたが、そのどれもがとても楽しく、充実していたようで、今日もやり切った感じで帰宅してきました。クラスの団結力もまた一段階絆が深まったように見えて、嬉しく思いました。

娘は2年生ですが、3年生が最後に有終の美をおさめ、なんだかホッとしました。

あと、今日、途中から来賓席の後ろ側などを大幅に保護者観覧ゾーンに広げる判断をしていただいて、ありがとうございました。暑い中、本当にお疲れさまでした！

係活動やボランティアを含め、子どもたちが「自分たちでつくる」経験を充実感として持ち帰れたことを、私たちも大切な成果として受け止めています。学校HPからの発信についてのご意見も励みになります。今後も、子どもたちの挑戦や協働の過程が伝わる学校づくりを進め、当日の運営面も状況に応じて柔軟に改善できる体制を整えてまいります。

⑩とても楽しく感動した体育祭でした。

力を合わせて成し遂げる大切さを目の当たりにした日になりました。縄跳びやマスゲーム、ダンスは、とても良かったです。

ダンスリーダーですが、1年生は、立候補してジャンケンでリーダーが決まった後、オーディションのような事があり、振りが覚えられない生徒さんは外された。と聞きました。

リーダーをやりたい生徒は、ジャンケンではなく、最初からオーディションで選ばれたら、モチベーションも上がり自信もつくのではいかと思います。

選ばれてから外されたらショックが大きいようにも思います。

限りあるスペースですが、保護者席の工夫をお願いしたいです。

来年も楽しみにしています。有難う御座いました。

感動したという言葉、そして具体的なお言葉をありがとうございます。力を合わせる良さを感じていただけたことは、行事のねらいに重なる部分で大変ありがたく思います。一方で、ダンスリーダー選出や途中での外れ方についてのご心配は、子どもの気持ちに寄り添った大切な視点だと受け止めました。この件については担当からも報告を受けています。来年度に向けて、挑戦したい気持ちが尊重され、納得感と安心感が両立する選び方・伝え方（プロセスの明確化）を検討します。あわせて、保護者席の見やすさについても、限られた条件の中ではありますが、改善策を具体化してまいります。

⑩体育祭お疲れ様でした。

競技の勝敗はもちろんですが、生徒たちが自ら考え、運営し、仲間を支えながら行事をつくり上げていく姿がとても印象的でした。

息子も先日の校外学習、そして体育祭を経験する中で、「みんなで一つのことをつくり上げていく過程」を心から楽しんでいたように思います。クラスの仲間との絆も深まり、広尾中のことをますます好きになっている様子が伝わってきました。

奥井先生の総括にあった「非日常が、日常を変えていく」という言葉に深く共感します。行事そのものだけでなく、その準備や挑戦、協力の過程を通じて育まれた空気感が、生徒たちの日常を少しずつ豊かにしているのだと感じます。

保護者としては、子どもたちが「やらされる」のではなく、「自分たちで考え、自分たちでつくる」経験を積み重ねていることを大変ありがたく感じています。

生徒たちがイキイキと動き出す空気が、広尾中らしさなのだと改めて感じました。

素晴らしい体育祭をありがとうございました。

行事の「過程」に目を向けてくださったご感想が非常にありがたいと感じています。子どもたちが自分たちで考え、仲間のちがいを活かし合いながら協働していく姿は、チーム広尾が大切にしている学校像そのものです。これからも、非日常の経験が日常の学びや人間関係を豊かにしていけるよう、子ども主体の場づくりと支え方を丁寧に積み重ねてまいります（ご共感いただいたとのこと、ありがとうございました）。



⑪初めて体育祭に保護者として参加させていただきました。生徒も先生たちも一生懸命に頑張っていたのが印象的でした。各学年それぞれ色が合って個性が見えて良かったと思います。

一年生は今回の悔しかったことは来年以降色々な場面で反面教師にしたり、リベンジして成長していくと思います。

先生方も相談しやすい雰囲気です素晴らしいと思います。

一人一人大切な仲間として保護者としても見守っていきたいと思います。

ありがとうございました。

初めてのご参加、ありがとうございました。学年ごとの個性や、子ども・教職員の頑張りを感じていただけたことを嬉しく思います。悔しさを次に生かす視点も、成長を支える大切なまなざしだと受け止めました。今後も相談しやすい雰囲気を大切にしながら、一人ひとりが安心して挑戦できる学校づくりを進めてまいります。

⑬天候にも恵まれ、競い合う中にも学年を超え一体感のあるとても和やかな運動会を拝見し心があつくなりました。

ご指導いただいた先生方に感謝申し上げます。

中学生最後の運動会が無事に終わり晴れやかな様子の子の娘を見ることができとても嬉しく思っております。

また観覧場所を適宜広げていただいたり、敬老席を追加していただくなど臨機応変なご対応に高齢の家族も含め気持ちよく過ごすことができました。

ありがとうございました。

(水分補給を促すアナウンスもとても助かりました)

心があつくなったというお言葉をいただき、ありがとうございます。学年を超えた一体感や和やかさを感じていただけたことは、子どもたちが互いを尊重し合う姿につながっていると受け止めています。観覧場所や敬老席、水分補給のアナウンスについても、安心して過ごしていただけたとのこと、励みになります。今後も安全と参加しやすさを両立し、状況に応じて柔軟に改善できる運営を続けてまいります。

⑭中学校生活最後の体育祭、素晴らしく感動的なものでした。生徒一丸となり気迫の感じられるものでした。生徒たちからマイナスの雰囲気を感じ取れるものは一切なく、広尾生の品格が現れていたと思います。娘の話しからは、優勝は難しいのではないかと正直思っていました。一点差での優勝！校長先生からのお話もありましたが、腐らずに頑張ってきた成果だと思っています。先生方が支えて下さったからこそ、腐らずにがんばり、力を発揮できたのだと思っています。この力を若木祭、受験に向けて突き進んで欲しいです。期待したいです。感動をありがとうございました。大切な節目の行事を、温かく見守ってくださりありがとうございます。生徒の気迫や雰囲気、そして「品格」とまで受け止めていただけたことを、教職員一同大変ありがたく感じています。結果だけでなく、腐らずに挑戦を続けた過程こそが子どもたちの力になっていると私たちも考えています。今後も若木祭や進路に向けて、一人ひとりが自分の良さを生かしながら前に進めるよう、安心して挑戦できる支えを続けてまいります。



多くの保護者の皆様から、体育祭について温かいご意見・ご感想をお寄せいただきました。ありがとうございました。

生徒一人ひとりが役割を担い、学年や立場を越えて声を掛け合い、力を合わせて行事をつくり上げていく姿に対し、共感や安心、感動といった声を数多くいただいたことを、学校として大変ありがたく受け止めています。

一方で、観覧の環境や暑さへの配慮、スペースの制約の中での工夫など、今後に向けた課題や具体的なお提案もいただきました。こうしたご意見は、行事を「終わられてよかった」で終わらせず、より良い学校づくりにつなげていくための大切な視点だと考えています。

本校では、行事を単なる非日常の体験にとどめず、そこで生まれた気付きや関係性が、その後の日常の学校生活を少しずつ豊かにしていくことを大切にしています。今回の体育祭で得た学びや反省を「若木祭」へ、そして次年度の「体育祭」へと確実につなげていけるよう、教職員で共有し、準備や運営の在り方を見直してまいります。

今後も、子どもたち一人ひとりのちがいを大切にしながら、安心して挑戦することができる学校の実現、また、保護者の皆様とともに子供たちの成長を喜び合える学校行事を積み重ねていきます。引き続き、率直なご意見・ご感想およびご協力をお願いいたします。

結びに、ご参加いただいた地域・保護者・PTA役員の皆様方、本当にありがとうございました。

